

自らの翼で この国の未来に挑む。

国家公務員の仕事ってなんだろう?

このパンフレットを手に取ったみなさんはそう思っているかもしれません。

私たちの仕事は国全体に関わる業務を行うこと。

人々の暮らしをより豊かにする政策の企画・立案。

必要な政策実現のための調整、政策の実行・フォローアップ。

すなわち、この国に存在するすべての人のための仕事です。

時には、国内にとどまらず国際社会の中で、世界規模の課題に取り組むことも。

担当するミッションはそれぞれの府省で違っても、

共通するのはこの国の人々を想い、考え、実行すること。

そこには、国家公務員でしか経験できない社会貢献があります。

あなたの考える豊かな暮らしとは?

あなたの考えるこの国に足りないものは?

人の力は国の力。

一人ひとりの挑戦が国づくりのための鍵となります。



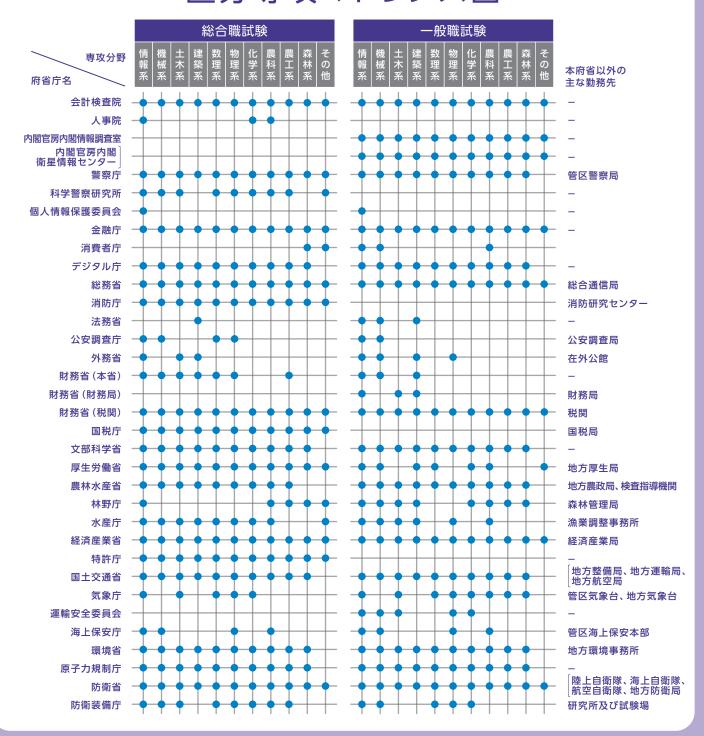


03	目次	16	●経済産業省
04	区分専攻マトリクス図	17	●特許庁
05	府省紹介	18	●国土交通省
05	●警察庁	19	●気象庁
06	●デジタル庁	20	●海上保安庁
07	●総務省	21	●環境省
08	●消防庁	22	●原子力規制庁
09	●法務省	23	●防衛省
10	●外務省	24	給与・勤務時間など
11	●財務省税関		人材育成
12	●国税庁	25	試験から採用までの流れ
13	●文部科学省	26	府省等別・試験の区分別採用状況
14	●厚生労働省	0.7	総合職試験
15	●農林水産省	27	府省等別・試験の区分別採用状況 一般職試験 (大卒程度試験)

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。



区分専攻マトリクス図





情報系

機械系 土木系 建築系

数理系 物理系

情報工学系、電気・電子系、材料工学系 機械系、原子力工学系、造船工学系、材料工学系 土木系、資源工学系

建築系

数理科学系 物理系、地質系 化学系 農科系 農工系

化学系、生物系、薬学系、農芸化学系 農学系、農業経済系、畜産系、水産系

農業工学系

森林系 林学系、砂防系、造園系、林産学系 その他

情報系から森林系までのいずれにも該当しない理系専攻分野



採用予定数 (総合職試験)は こちら



採用予定数 (一般職試験(大卒程度試験))は こちら



令和9年4月の採用予定数は、令和8年2月初旬頃に人事院のホームページ 「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。その後、随時ホームページ を通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。





ヘルメットに対する クロスボウの射撃状況 (貫入時の衝撃で矢が わずかにたわんでいる)

市民の安全を守るリーダー

警察庁には、国民の「安全・安心」のために、技術系職員がその能力を存分に発揮できるフィールドがあります! 本庁では総合職(行政職)、一般職(情報通信/DNAセンター)職員が、附属機関である科学警察研究所では 総合職(研究職)職員が活躍しています。総合職(行政職)職員は、理系としての素養を活かし、

生活安全、刑事、交通、警備、サイバー警察といったあらゆる部門で政策の企画立案を担っています。

一般職職員は、技術のプロフェッショナルとして、警察独自の情報通信ネットワークの構築、犯罪捜査における技術的支援等を担っています。 総合職(研究職)職員は、それぞれの専門に応じて、科学捜査についての研究・実験等を担っています。



本庁だけでなく、都道府県警察も活躍のフィールドであり、 サイバー犯罪の捜査などをとおして、国民の安全・安心を守っています。



令和6年能登半島地震における 警察部隊活動への技術的対応



全国警察の未来を支える DX推進役として国民の安全・安心を守る。



詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

全ての人の「あたりまえ」の生活を 守るために

宗崎 真理子 警察庁サイバー警察局 サイバー捜査課付

2020年採用

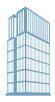
記憶に残っている業務

警視庁に出向し、現場の捜査員として勤務したことです。周りは捜査のプロばかりで、彼らが普段どんな視点で捜査 に従事しているのか、学ぶことばかりの毎日でした。また、警察庁勤務で制度設計に関わった仕組みを、現場の捜査員と して「使う」側になったのですが、自分の作った制度が活用されている喜びを感じるとともに、使う側に立つことで制度 の改善点も知ることができ、制度設計にはあらゆる視点からの検討が必要だと実感しました。

仕事の面白み、やりがい

サイバー捜査分野では、捜査・法令に関する知見と、サイバーに関する知見の双方が求められます。変革の激しい 分野だからこそ、自分もどんどん新しい知識を吸収し、柔軟な考え方で物事を捉えることが必要で、それが面白くもあり ます。また、国際共同捜査の場面では、国同士の利害関係ではなく、「犯罪に対処し、安全・安心な世界を作る」という 同じ目標に向かって異なる国同士が協力していけることが素晴らしいと思います。





デジタル庁

Digital Agency



デジタル社会形成の司令塔

デジタル庁は、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」をミッションとして、社会全体のデジタル化を推進しています。 誰もがデジタルの恩恵を受けるデジタル社会を実現するためには、技術面・制度面・体制面等、多面的なアプローチが必要です。 技術系のバックグラウンドを持つ職員を中心に、現在・未来の社会課題の解決や、

人に優しいデジタル社会を実現するために [技術面] でアプローチをする役割を担っています。 また、専門性の高い知識・スキルを活かし、行政サービスの利便性向上や、デジタル社会の基礎整備、 デジタル技術に基づいた制度設計等の業務で活躍しています。



デジタル庁オフィス (芝生エリア)



デジタル庁オフィス (執務エリア)



「法令」×「デジタル」 ハッカソン 2/5 @ - 3/6 @

デジタル庁



「法令」×「デジタル」 ハッカソン (2024年度開催)

もっと 詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

デジタル時代を 別の視点から見る

當波 孝明 デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ

2023年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代に学んだコンピュータサイエンス分野の知識ももちろん、技術標準化やインターネットガバナンス、プライバシー 等情報技術の周辺にある問題への興味が強かったことが、行政的な仕事と技術的な専門性を結びつけることに役立っ ています。また、特にデジタル庁の政策の多くはIDに関するものであり、IPAのセキュリティ・キャンプでIDに関する 講座を受講していた経験も、現在の仕事に役立っています。

仕事の面白み、やりがい

以前より著書を読んだり、SNSでフォローしていたような有識者の皆様をお呼びして、政策・課題についてご議論い ただく場に、間近で議論を支える当事者として携われるのは、刺激的で、他ではない仕事であると感じています。有益な 議論を頂き、より良い政策に繋げるためにも、専門的見地からの正確性を確保するためのインプット、日々変化するデジ タル分野の動向を追うための努力が必要ですが、その結果として、有識者から議論の内容や取りまとめ内容について 良い評価を頂けると次回以降のやる気にもつながります。







情報通信技術でより良い社会に

総務省は、我が国の成長分野のひとつである情報通信分野を所管し、通信・放送業界の監督のほか、

サイバーセキュリティの確保や先端的な研究開発、ICTの利活用の推進などを行う「情報通信行政」を担っています。

情報通信行政では、最先端の技術を踏まえた政策を企画立案していくことが求められ、理系のバックグラウンドが活きる行政分野です。 情報通信分野は技術の進歩が速いため、新しい技術の発展を妨げないように取り組む一方で、

利用者の保護や既存のシステムへの影響に配慮した対応が求められており、技術系職員が幅広く活躍している分野です。



Beyond 5Gが実現する機能





の開発力強化

AI(大規模言語モデル (LLM))







ITUにおける 国際標準化





先輩職員に聞く

From senior to you

技術革新とともに歩む

黒川 理雄

総務省 総合通信基盤局電気通信事業部 安全·信頼性対策課 事故分析係長

2009年採用

記憶に残っている業務

2024年度は、地震、豪雨、山林火災など、様々な災害が発生しました。通信は重要なライフラインの一つであり、 避難所などで携帯電話が通じることや、救助、復旧活動に携わる方々の通信の確保が求められました。非常時の緊張 感の中、電気通信事業者の皆様などの協力も得ながら、被災地への応急復旧機材の配備や避難所等への通信機器の貸 し出しなど、早期の通信サービスの復旧を目指して業務に取り組んだ日々は強く記憶に残っています。

仕事の面白み、やりがい

[情報通信]は社会活動に不可欠なものとなっており、皆様が今、手元に持っている携帯電話やPCだけでなく、日々使 用する鉄道や飛行機、農業、医療、建築など様々な分野で活用され、そのすそ野は広がり続けています。新技術を新 しい分野に役立てるために、一方で、事故などが起こらないよう、安全面などを考慮しつつ、ルールを作り、新たなサー ビスが生まれ、実際に機器が動き、使われている場面に立ちあえる点に、非常にやりがいがあると感じています。







災害対策の司令塔

消防庁は、火災の予防や消火、救急、救助、防災など「国民の安心・安全」を担っています。

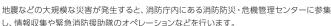
高齢化社会の到来や新エネルギーの出現、ICTの活用など、社会の大きな流れの中で、誰もが安心して暮らすためには、

合理的な安全対策が必要です。技術系職員は、消防防災の専門家としての現場の知見、研究者や技術者と議論するための理系の素養、 そして関係者が納得できるように説明する行政官としての技量をもって、合理的な安全対策を実現します。

また、地域の消防力では対応できない大規模な地震や集中豪雨などの自然災害、大規模事故、テロなどの緊急事態の際には、

被害の全貌を把握するとともに、全国的な見地から緊急消防援助隊を派遣して被害の抑制にあたるなど、オペレーション業務を担います。







消防の現場で活躍する消防 吏員、地域の防災を担う市町 村・都道府県の職員、地方自 治や行政評価を専門とする総 務省の職員など、様々な経歴 を持つ職員の橋渡しの役割を 担い、チーム力を高めます。



現場の意見を正確に理解した 上で施策に反映させるため、 入庁して数年で消防本部に出 向し、現場活動や消防防災行 政の基礎的な知識を身につけ ます。

もっと 詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

人のために、知恵を絞り、 全力を尽くす

関洸

消防庁 予防課 設備係長

2020年採用

記憶に残っている業務

入庁1年目に「救急安心センター事業(#7119)」を実施する地方自治体への財政措置の見直しを担当したことです。 #7119は、住民が救急車を呼ぶべきかどうか等の判断に悩む場合に、専門家が電話相談に応じるものです。この見直 しでは、財政措置の対象範囲が拡大され、その後、事業の実施地域は着実に増えつつあります。新人ながら大仕事を 任せていただいたこと、少しでも社会が変わることを、振り返って噛みしめています。

仕事の面白み、やりがい

「社会実装」を実感できる点です。消防庁では「現場」への出向の機会があります。福岡市消防局への出向時には、 消防庁で私が担当した制度が、実際に現場で運用されている場面に何度も出くわしました。政策が社会に反映されてい ることを体感し、嬉しかった反面、現場の制度運用の苦労もよく耳にしました。この経験を経てからは、机上の空論ではなく、 理論と実践の橋渡しとして頭を悩ませることが、一つのやりがいです。





施設を造る 未来を創る

法務省では、技術系職員(総合職、一般職)が、刑務所等の矯正施設や法務局、検察庁等全国約800に及ぶ施設の整備を行うとともに、 国際会議等にも参加し活躍しています。

刑務所等の矯正施設の整備において、セキュリティを確保することは当然のことですが、矯正施設は、被収容者等が起床から就寝までの 基本的な生活を送るだけの場ではなく、円滑な社会復帰に向けて柔軟かつ適切な矯正処遇を行う場でもあることから、これらを実現するため、 技術系職員は専門知識を用いて設計を行っています。なお、法務省は、矯正施設の整備を行う国内唯一の機関であり、 明治時代からのノウハウを生かしつつも、3次元CADでの設計など新しい時代に即した施設整備を行っています。

「ここでしかできない設計」で、安全・安心な社会の実現を支えませんか?









刑務所(喜連川社会復帰促進センター)

拘置所 (東京拘置所)

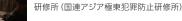
少年院 (沖縄少年院·沖縄女子学園)

総合庁舎(甲府法務総合庁舎)













工事監督 (全国の工事現場にも出張します!!)

国際会議(アジア矯正建築会議)

先輩職員に聞く

From senior to you

技術力を生かして 法務行政の礎を築く

高橋 諒

法務省 大臣官房施設課 収容施設企画第二係

2020年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では流体力学を専攻しており、効率的な発電を可能にする風車の形状について研究していました。学生時代に 専攻した流体力学の考え方が、建物に使用する給水配管や空調用ダクトを設計する際に使われているため、大学で学ん だ知識が建物の設計をする際の一助となっています。

記憶に残っている業務

入省後、初めて携わった川越少年刑務所の職員宿舎の案件が記憶に残っています。これまで全く「建築」というもの に触れてきなかったため、まずは図面を理解することからのスタートでした。上司や先輩からの手厚いサポートを受けつつ、 設計業務の受注者と綿密に調整を行い、着実に設計業務を進めていきました。右も左もわからない中、苦労して完成さ せた設計図面を基に工事が発注され、契約後は工事監督業務の一環として実際に工事現場に赴くこともありました。 自分が設計担当者として携わった建物が徐々に造られていく様子を目にした際、改めてスケールの大きい仕事をしている ということを実感しました。





国際社会における日本を支える

外務省の任務は国際社会の一員として求められる責任を果たしつつ、日本の安全と繁栄を確保し、国民の生命と財産を守ること。 激動する世界情勢のなか、世界各国で外交活動の拠点となるのが大使館や総領事館、政府代表部などの在外公館です。

相手国にとって「日本の顔」とも言える在外公館施設の建築企画から竣工後のメンテナンスまで、

建設プロジェクトの全てを担うプロデューサーとして、また、本省と在外公館との間でやりとりされる外交情報を24時間365日、 安心、安全、確実に送受できるよう、より強固な情報通信システムの開発・管理を行い、

巧妙化するサイバー攻撃から情報を守る専門家として、技術系職員は我が国外交基盤の一端を担っています。



営繕技官が世界各国で建てた在外公館施設(大使館等)



現在、進捗中の大使館事務所 増改築丁事現場の様子。 工事の品質の確保も重要な 任務の一つです。



外交通信の中核を担っている 大臣官房情報システム総括課

在ザンビア日本国大使館で インマルサット衛星通信機器

設置



日本政府専用機搭乗のための事前訓練

サーバーで外交情報通信システムの メンテナンス





先輩職員に聞く

From senior to you

自分らしくいられる職場

本原 拓也 大臣官房情報システム総括課 主査

2015年採用

記憶に残っている業務

約4年間の在外公館(在ニューヨーク日本国総領事館)での業務が最も記憶に残っており、同総領事館内における通 信業務のみならず、国連総会の応援や通信分野以外の業務支援なども広く携わり、貴重な経験をさせていただきました。 時にはニューヨーク日本国総領事館の通信担当としての意思決定を求められることも多々あり、この経験が自ら物事 を考え、発言の一言一句に責任を持つよう意識するきっかけになったと思います。

仕事の面白み、やりがい

現在の業務では、最新の技術や脅威情報、セキュリティ対策を常に学び続けており、飽きることのない面白さがあります。 専門性を深め、高度な技術を習得することで、自身の成長やスキルアップを実感でき、常に新しい知識や技術に触れる ことで、仕事へのモチベーションを高く保てます。

この仕事を通じて、今後も更なる専門性を追求し、セキュリティ分野の発展に貢献しているものだと強く実感を持つこと ができています。



国のゲートキーパー

税関では「安全・安心な社会の実現」「適正かつ公平な関税等の徴収」「貿易円滑化の推進」の3つの使命を掲げています。 その全ての使命に技術系職員が活躍しています。

あらゆる手段を講じて密輸入される不正薬物等を判定する成分の分析。

動植物の生物分類別や機械部品の素材や用途別により税率が変化する輸入品に課される関税を適切に徴収するために行われる品目分類。 輸出入の申告や入出港に関する申請をオンラインで処理する情報処理システムの管理。

これら以外にも様々な専門性を有する技術系の職員にとって、税関は知識や技術が活かせる職場が多くあります。



金と疑われる犯則物品の分析



分析機器の業者対応

輸入品の材質確認



分析機器の維持管理



もっと 詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

世界最先端の税関を 一緒に創りませんか?

飯泉 美弦

財務省 関税局関税課 税関調査室 調査官

2020年採用

記憶に残っている業務

印象に残っている業務は、羽田空港で検査官として制服を着て、旅客の通関を行ったことです。旅客の手荷物を開披 したり、各種検査機器を駆使して不正薬物や社会悪物品が入っていないか目を光らせたり、水際最前線の緊張感のある 現場を体感しました。膨大な数の旅客に対し、迅速な通関と厳密な取締を両立する必要性と難しさを実感した経験は、 「先端技術をいかに税関の現場で活用するかを考える」という現在の業務の大きな土台となっています。

日々の仕事

現在の担当業務は、「世界最先端の税関」を目指して、AI等先端技術を税関業務で活用するための施策立案です。様々 な先端技術の情報を収集するために、民間企業との新技術に係る打合せや、各種展示会に参加しています。そのほか、 税関で業務活用しているビッグデータ解析モデルの方向性やデータサイエンス人材育成についての検討等、新たな アイデアを出し、税関の将来像を考えることを日々行っています。





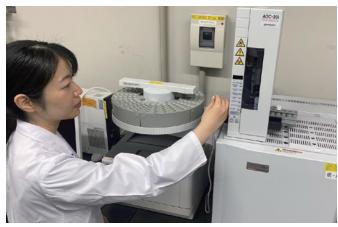


税務行政と酒類業を技術で支える

国税庁の技術系職員は、「鑑定官」と呼ばれ、課税物件である酒類・揮発油の分析・鑑定を通して 内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現に向けて活躍しています。

また、国税庁の所管業界である酒類業の健全な発達に向けて、酒類製造者への技術的な指導や相談等の酒造技術の向上のための 取組、酒類の安全性確保に関する取組を実施しています。さらには、酒類産業振興のため、技術的な知見を活用し、 国内産酒類の輸出促進に向けた取組等を行っています。

私たち鑑定官は、酒類・揮発油について技術的知見を持つスペシャリストとして活躍しています。



課税物件(酒類・揮発油)の分析・鑑定



酒類製造者に対する 技術支援



国際会議への参加



鑑評会・研究会の開催





先輩職員に聞く

From senior to you

SAKEを科学で支える仕事

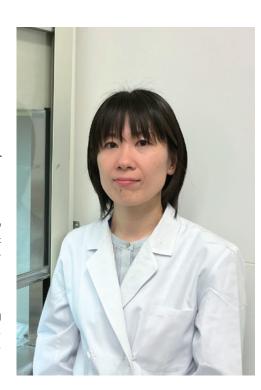
2015年採用

記憶に残っている業務

採用2年目で担当したビール研究会の運営です。当時はまだ技術支援の相手方は清酒製造者が中心でしたが、クラフ トビールが増え始めてきたことを踏まえ、クラフトビール業界の醸造技術の向上のため、初めて研究会を開催すること になりました。新人ながら、配布資料の作成や会の運営を任され、当日、参加者の1人から「このような会を待っていた。 開催してくれてありがとう!]と握手を求められたときは、とてもやりがいを感じました。

仕事の面白み、やりがい

国税庁は内国税の賦課・徴収を行う官庁ですので、調査や規制といった側面の業務もありますが、酒類業の発展を目 的として、産業振興といったとても前向きな業務に携われることが魅力だと感じます。研究会にせよ技術相談にせよ、 「いかに酒類製造者の方のためになるか」と工夫を凝らして形にしていく仕事内容そのものがとても面白いですし、 「遠くの誰か」ではなく、直接目の前の製造者の役に立てることもやりがいに繋がりやすいと感じています。





文部科学省

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology



未来づくりのプロフェッショナル

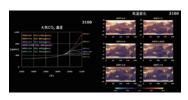
文部科学省では、事務系・技術系を問わず、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化といった広範な分野の業務を扱います。

中でも技術系職員が中心となる科学技術・学術分野では、多様な学術・基礎研究への支援や、そこから生まれた成果の社会実装に向けた取組、 国単位の大きなプロジェクトの推進に加えて、これらを支える人材の育成や産学の組織的連携、国際連携等の横ぐしの政策立案を行います。 日進月歩の科学技術・学術が生み出す社会変革やイノベーションは、我々の生活を豊かにするとともに、ときにリスクを生み出すこともあります。 文部科学省の技術系職員には、こうした最先端の研究開発や社会動向へのアンテナを高く保ちつつ、

予算・法令・税制等のツールを総動員しながら、深い洞察と課題解決力によって豊かな国づくりに向けた政策を立案する役割が求められています。



3GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu



気候変動予測シミュレーションにおける大気CO2濃度と気温変化 (提供:文部科学省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」による成果)



スーパーコンピュータ「富岳」 (©理化学研究所)

H3ロケット試験機2号機の 打上げ (©JAXA)



もっと 詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

未来のデジタル社会の 可能性を広げる仕事

古川晃

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課 半導体エレクトロニクス推進室 半導体技術係長

2020年採用

記憶に残っている業務

昨年度まで、文部科学省が推進すべき研究開発や人材育成についての検討会を実施していました。科学技術振興機 構や理化学研究所、技術研究組合最先端半導体技術センターの理事長など、そうそうたる委員の皆様に議論いただき、 時には日本の将来を見据えた重要性もお話いただき、非常に身の引き締まる思いでした。また、本検討会の議論を踏まえ、 文科省内の様々な部局が連携するだけでなく、他省庁と連携した施策も実施することとなり、驚きと大変さにあふれ た一連の業務でした。

仕事の面白み、やりがい

半導体は特に各国の技術競争が激しく、開発のスピードが早く、次の技術開発に向けた基礎的な研究を進めておく事 が重要になります。産業化が見通せる技術は他省庁で実用化に向けた開発がなされているところですが、文科省ではさ らにその先の技術に向けた基礎的な研究開発を推進しています。社会を変え得る、その分野の最先端の技術に触れら れる点がこの仕事の魅力だと思います。





かけがえない生活の「要」-当たり前の日常を守る-

「ひと、くらし、みらいのために」は、職員が一丸となって国民にとってあるべき厚生労働行政を推進していくという想いの支柱として 掲げられたキャッチフレーズです。「ひと、くらしのために」はまず、社会のニーズを的確に捉えないと適切な施策を実施することができません。 また、「みらいのために」は将来の姿やニーズの変化を見据え、先手を打って施策を実施していくことが重要です。

厚生労働省総合職技術系は、薬系、数理・デジタル系、技術系、人間科学系の4種類の区分がありますが、

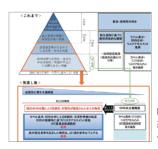
その中で技術系は、働く人々の安全と健康を守る分野(労働安全衛生分野)を中心に、ものづくり人材の育成や国際業務など、 労働分野を軸として多岐にわたる政策に携わっています。



全国安全调間



技能五輪全国大会



自律的な管理を 基軸とする 化学物質の規制



フリーランスの安全と健康を考える





先輩職員に聞く

From senior to you

理系の知識で働く人の 安全と健康を守る

久保田 晴香

厚生労働省 労働基準局安全衛生部 計画課 調整係長

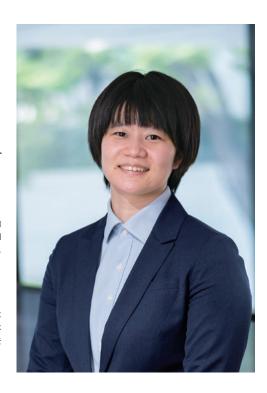
2018年採用

記憶に残っている業務

厚生労働省技術系では、若手が厚生労働省の出先機関である労働局・労働基準監督署に出向します。私は千葉労働 局船橋労働基準監督署において、労働安全衛生行政の現場の最前線を経験しました。例えば、墜落防止のために開口 部に柵を設けるなど、法令の規制が実際にどのような形で労働者を守っているのかを肌で感じることができました。 この経験により、法令の規制が実際にどのような方法で行われるのかをイメージしやすくなりました。

仕事の面白み、やりがい

働く人の安全と健康を守るために、労働災害の防止に向けて仕事を行っています。働いている方を対象にした政策と なるため、多くの人に影響することが多く、やりがいを感じます。また、労働災害のデータや技術の進歩等による新たな 課題を把握し、規制のあり方を見直す等にあたっては、専門的な知識が必要になることもありますが、理系の知識を フル活用しながら理解に努めています。





食と生命の守護神

日本の食料・農林水産業は、自然災害の頻発や地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、生産・消費の変化など、 様々な課題に直面しています。将来にわたって食料の安定供給を図り、生産力向上と持続性の両立を実現するには、 イノベーションといった、より科学的な手法が欠かせません。具体的には、収量増加や品質向上に帰するバイオテクノロジーや、 省力化を可能にするAI・IoT・ロボット技術を活用したスマート農林水産業などの開発・実装が急務となっており、 農林水産省では多様なバックグラウンドを持つ技術系職員が、自身の専門的な知識・能力を生かしながら、 現場の課題を踏まえた政策の企画・立案・実行など広い範囲で活躍しています。





基盤整備により大区画化されたほ場 (茨城中部地区)

ドローンによる農薬散布



食文化の継承・振興

高性能林業機械による

森林整備



水産資源を守る・増やす漁場の整備



木材をふんだんに利用した大規模建築物



先輩職員に聞く

From senior to you

理系の知識を活かして、 課題解決の方法を一緒に考えましょう!

窪田 隆

農林水産省 農産局穀物課 総括係

2021年採用

記憶に残っている業務

前職で、ロボットやAI、IoTを活用して生産性を向上させる「スマート農業」を推進するための新しい協議会の立ち上げ 準備を行ったことが記憶に残っています。具体的な内容を考えることに加え、会場の設置といった物理的な対応も含め て準備は大変でしたが、会合には、1,000名を超える方に参画いただき、会の終了後もたくさんの方が会場に残って、 意見交換を行っていたのが印象的でした。

仕事の面白み、やりがい

国家公務員の仕事は、大規模な事業や全国的な施策に携わることができることや、多様な関係者と関わることが できることが魅力だと思っています。立場の異なる方々からの意見や要望を聞く機会が多くあり、多角的な視点から、 農林水産業の実情を見ることができることが面白いと感じています。





日本経済の牽引役

経済産業省は、「未来に誇れる日本をつくる」をミッションの下、国内外の情勢の変化を捉え、

この世界と国を良くするための本質的な課題を追求し、政策を企画・立案・実行している組織ですが、実は採用数の約4割が技術系職員です。 取り組む課題は、エネルギー・環境からモビリテイ、AI・IoT、バイオ・ヘルスケア、産業保安など、

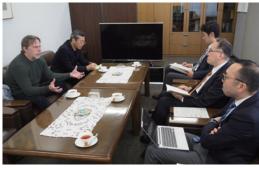
経済に関わる全ての産業分野にまたがりますが、分野に限らず、産業の競争力を規定する大きな要素として技術・イノベーションがあり、 それらが社会に実装されることで、私たちの暮らしはより豊かになっていきます。

経済産業省の技術系職員は、技術と社会を繋げる人材、技術も行政も操れる人材として、理系としての専門性や理系的思考を活かしながら、 日本の産業・人々の暮らしを豊かにする「仕組みづくり」に日々活躍・挑戦しています。



2025年大阪・関西万博開催に向けた 企画・立案・調整

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 ©Expo2025



半導体業界で「伝説のエンジニア」と称される、 ジム・ケラー氏との意見交換



産業保安監督部における発電所、 鉱山等の保安業務





先輩職員に聞く

From senior to you

一般的な理系出身者とは 一味違う社会貢献

高山 大地

経済産業省 大臣官房福島復興推進グループ 福島新産業・雇用創出推進室 総括係長

2019年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

自分自身が民間企業に勤めて自社のためだけに働くことが想像できず、国家公務員という国の最前線の動きを間近 で見られ、かつ全民間企業等を対象にどのように貢献できるかを考えるという仕事のスケールの大きさに魅力を感じた

仕事の面白み、やりがい

国家公務員としての仕事の面白みは、国際・国内情勢は日々変動する中で、それに対応する国の最前線の動きに主体 的に関わることができることです。また、現職の福島復興の業務は、地元の方々の目線で総合的に必要な施策を検討する ことが必要です。一つの分野だけではなく、省内他部局や他省庁が所掌するあらゆる施策を把握した上で、既存施策の 組み合わせや新たな施策を検討するなど、広義な視点や方策が求められる点で面白み、やりがいがあります。











「知的財産」の守り人

特許庁の技術系職員は、審査官・審判官として特許の審査・審判業務に従事するとともに、特許制度を取り巻く様々な業務に携わり、 日本の技術開発を支えています。審査・審判業務では、国内外から出願された発明の理解、従来技術の調査、特許性の判断等、 各プロセスにおいて理系の専門知識を最大限に活用します。入庁後は、業務や、学会への参加、海外留学等の機会を通じて 技術と法律の専門知識をさらに深めていくことができます。

また、審査で身に着けた知識や経験を強みとして、法律改正や国内外の知財政策の立案、中小企業・大学・スタートアップ支援など 多様な分野に活躍の場があり、イノベーションの推進、日本の産業発展に貢献しています。





□頭審理を行う審判廷



協議を行うためのスペース



審査室の風景



国際会議などが行われる 特別会議室





審査官の執務環境

先輩職員に聞く

From senior to you

一つひとつの「知」に寄り添う

狩野 寬子

特許庁 審査第一部ユーザーエクスペリエンス 審査官

2021年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

学生時代に、海外研修や旅行を通して、日本の技術の精巧さ、緻密さ、品質の良さを実感したことがきっかけです。 理系出身であることを活かしつつ、日本の技術を支える職業に就きたいと考え、国家公務員を選択しました。

仕事の面白み、やりがい

特許審査業務をこなすほど、審査に役立つ知識とノウハウが自分の中に蓄積されるため、少しずつですが着実に成長 している実感を得られると思います。また、先行技術文献と法知識を基に特許性の判断をするため、パズルのように 情報を整理しながら論理的に文章を作成していく面白さがあると思います。基本的には、書類を通じて出願人とやり取 りをしますが、審査官としての考えを伝え出願人が納得した上で特許査定できたときにやりがいを感じます。





国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



豊かな暮らしと経済の実現

国民の命と暮らしを守ることが使命である国土交通省は、社会資本整備の推進、社会資本の老朽化対策、交通政策の推進、 地域活性化の推進など、多岐にわたる施策に取り組んでいます。

特に、気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や、切迫する南海トラフ地震などの大規模地震から、国民の命と暮らしを守り、 国家・社会の重要な機能を維持するため、防災・減災、国土強靱化の取組を切れ目なく推進する必要があるところ、 技術系職員がそれぞれの専門性を活かして、より効果的で実効性のある施策立案・判断・業務遂行等に貢献しており、 本省における施策立案・制度設計、現場における計画・設計・施工・管理・運営等、幅広いフィールドで活躍しています。



滑走路等耐震対策の 実施



鉄道災害調査隊 (RAIL-FORCE) による 支援活動の様子



もっと 詳しく読む



車両を積載可能なフェリー RORO船

先輩職員に聞く

From senior to you

ダイナミック!! クリエイティブ!! イノベーティブ!!

国土交通省 大臣官房参事官 (イノベーション) グループ 施工企画室 課長補佐

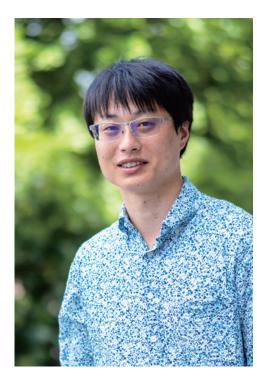
2013年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代には、流体力学の一分野である乱流モデルのシミュレーションなどを研究しており、数式と格闘する日々 を過ごしていました。現在、様々な政策検討や政策分析をする際に統計学的手法は必須ですし、また、様々な予測や推 計を行う際には、モデル構築から考えることが多く、数理的な知識はもちろんのこと、工学的な数理モデル構築のアプロー チ・考え方によく似ていて、学生時代の知識体系がとても役立っています。

仕事の面白み、やりがい

日本の国土・基盤を支える建設業の生産性向上を直に主導していくという社会的使命を感じつつも、自分のアイデア を生かしながらダイナミックに仕事を進めることに大変な喜びを感じています。







気象庁は、自然現象を常に監視・予測し、利用目的に応じた的確な気象情報を作成・提供を行うことで、 自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに貢献しています。その使命を果たすには、 常に最新の科学技術を駆使し、気象情報作成等のための技術基盤を確立・向上させることが不可欠です。 このように、技術系職員の活躍の場が多岐にわたるため、働いている職員の約9割を技術系職員が占めています。 活躍の場が多くありますので、専門性を極めることも、様々な分野を経験することもできます。 キャリアの中で自分が活躍できる場を探していけるところも、気象庁での仕事の面白さの一つだと思います。





赤道上空約35,800Kmで大気の状態を観測 気象衛星ひまわり

災害が発生した際に地方公共団体等に直接解説を実施 気象庁 防災対策支援チーム





気象庁スーパーコンピューター システム

もっと 詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

24時間動き続ける 気象庁の心臓のメンテナンス

上田 学

気象庁 情報基盤部数値予報課 プログラム班 技術主任

2015年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

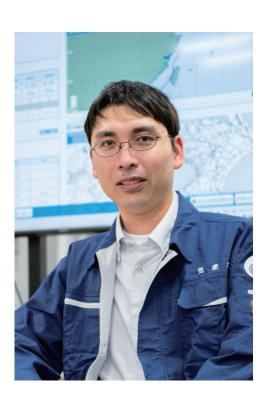
大学院では地球惑星科学を専攻しており、主に気候・気象について研究していました。そこで学んだ気象学や流体力 学等の知識はそのまま業務に使うことがありますし、研究でツールとして習熟したLinuxでのプログラミングも開発業 務で活きています。

また、専攻に限らないことでも、文献を調べ、深く思考し研究した経験は、開発業務における課題解決に役立っている と感じます。

仕事の面白み、やりがい

気象庁が発信する情報の基を作成する基盤となるシステムの運用を担っており、日々緊張感を持って仕事ができます。 特に、システムの大きな更新をチームでやりきった後には、達成感を感じます。

他にも、スーパーコンピューターは数年に一度更新があって、その整備に携わることができたり、GPUプログラミング やAIなど新しい技術に触れることもできるなど、好きな人にとってたまらない仕事だと思います。







日本の海の守護神

海上保安庁では、日本の海の安全と治安を守るため様々な業務を行っており、総務部情報通信課、

海洋情報部、交通部等において、理系の知識を有する技術系職員が活躍しています。

総務部情報通信課は、海上保安庁本庁から現場最前線の巡視船艇・航空機までを網羅する情報共有体制や指揮命令系統を確保するため、 通信施設や情報システムを整備・運用しています。

海洋情報部は、航海安全や海洋権益確保などの観点から海洋の科学的調査を行い、「海図」や「海しる」を通して、得られた海洋情報を提供しています。 交通部は、海上交通の安全確保と運航能率の増進を図るため、船舶への情報提供、マリンレジャーを楽しむ方への安全啓発、灯台をはじめと する航路標識の整備や運用等を実施しています。





測量船「光洋」



測量機「あおばずく」



大瀬埼灯台(長崎県五島市)





サイバーインシデント対応

もっと 詳しく読む



システム運用管理

海上交通センターにおける情報提供

先輩職員に聞く

From senior to you

海の安全を守るため、 理系だからできることがある

市川 圭介

海上保安庁 総務部情報通信課 サイバー対策室 サイバー技術調査官

2014年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代には、情報工学、特にプログラミングを専攻していました。現在の仕事では、ログの解析をはじめとした情 報システムに対するサイバー攻撃への対応等を行っています。

学生時代に専攻していた情報工学は、サイバーセキュリティの最前線で活動する現在の業務に直結していて、当時 学んでいたプログラミングやOS、ネットワークの知識を、複雑なセキュリティの問題の的確・迅速な分析、効果的な対策 に活用しています。

記憶に残っている業務

全職員が使用している情報システムの更改作業が特に記憶に残っています。当庁の現場では24時間365日休まず 業務を行っているので、現場業務に支障が生じないようシステムを停止させずに更改する必要がありました。

そのため、システム整備部門や現場部署、事業者等関係者全員の協力が不可欠でした。新システムが無事に稼働し、 現場部署からの良いシステムになった」という声を聞いたときの達成感は今でも忘れられません。







地球と人類の未来の守り人

環境省は、世界を舞台にした国際交渉から、国内で現場に寄り添う仕事まで様々な場面で活躍し、 「環境」を軸にして仕事ができる唯一の省です。スペシャリストとゼネラリストとの両視点からあらゆる分野で活躍し、 世の中の制度づくりに携わることができます。

環境政策は科学的知見を重視することから、技術系職員の役割が大きく、「理工系採用職員」は、気候変動対策、循環型社会の構築、 水大気環境保全、化学物質対策等、「自然系採用職員」は、生物多様性の保全、国立公園の保護管理、希少種の保全や外来生物対策、 施設整備、動物愛護管理などの分野で活躍しています。



阪神タイガースファーム施設「ゼロカーボンベースボールパーク」を核とした 脱炭素先行地域 (兵庫県尼崎市)



企業が管理するブドウ畑も 自然共生サイトに認定 (キリンホールディングス株式会社・ シャトー・メルシャン 椀子ヴィンヤード)



国連気候変動枠組条約 第29回締約国会議 (COP29) アゼルバイジャン(バクー)



営農型太陽光発電の導入促進



奄美大島でのマングース根絶 災害廃棄物処理(令和6年能登半島地震対応)

詳しく読む



先輩職員に聞く

From senior to you

持続可能な社会、 環境を未来につなぐために、 ひたむきに働けます

環境省 大臣官房環境影響評価課 環境影響審査室 審査官

2018年採用

記憶に残っている業務

入省1年目の夏に、G20会合で地球の裏側のアルゼンチンへ、航空便の関係で世界一周となった出張に行ったこと が記憶に残っています。唯一の若手出張者として旅程の細かい調整を行ったことは大変でしたが、無事出張でき充実感 がありました。会合に臨む方針や発表内容の調整にも携わることができ、リサイクルを含め地球の資源をいかに有効に 活用するかが議題の会合でしたが、何よりも気運の高まりに貢献できていることにやりがいを感じました。

仕事の面白み、やりがい

持続可能な社会の実現のため、環境を将来につなぐためにひたむきに働けることが一番のやりがいです。環境と何か が対立する時代ではもはやなく、環境を軸として環境・経済・社会の統合的向上を目指して働ける点でもひたむきにな れます。そのような政策を考えるためには、社会やあらゆる技術を見渡し、科学的知見に基づく必要があると考えています。 その中で自らの技術系としての背景も生かしつつ、いろいろな方と取り組めることに充実感があります。



原子力規制庁

Nuclear Regulation Authority



世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会は、常に世界最高水準の安全を目指し、原子力発電所などの安全規制を行っています。

原子力施設は、あらゆる分野の技術が集まって成り立っており、その規制には、様々な分野の科学的・技術的な知識が必要です。 また、放射線防護や原子力防災・災害対策などの役割も担っています。

そのため、原子力規制庁は、全ての区分の技術系職員(職員の約8割が技術系)が活躍できる環境であり、

東京での本庁勤務のほか、原子力施設が所在する地域の規制事務所や、国際機関等において、

常に最新の知見に学び、高い倫理観、使命感、誇りを持ちながら、職務にあたっています。







安全研究



原子力施設の審査・検査



研修制度

もっと 詳しく読む

放射線防護·原子力防災

先輩職員に聞く

From senior to you

専攻にとらわれない 幅広い科学的知識・思考力をフル動員

田中 敦也

原子力規制庁 原子力規制部 原子力規制企画課 技術課題一係長

2019年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

日本はいわゆる先進国であり世界的に見てもとても平和な国であることは言うまでもありません。そんな我が国の発展・ 安定等のため、「国家」というより大きな視点から仕事をしたいと思ったことがきっかけです。

仕事の面白み、やりがい

原子力規制庁の特徴として、若いうちから自らの考えや意見を発する機会が数多くあります。自らの考えや意見を論拠・ 理由とともに端的かつ正確に相手に説明し理解してもらうことは非常に大変なことである一方で、年次が進めば進む ほど必要になる非常に重要なスキルであり、こうしたスキルを若いうちから磨く機会があるのは非常に有意義だと感じます。 その中で、自分の考えや意見が周りに理解され考慮されることは仕事のやりがいにも繋がります。





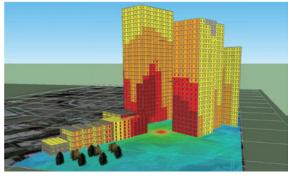


不変の使命 無限の可能性

防衛省には、我が国の平和と独立を守り、国民の命と平和な暮らしを守り抜くために、技術系職員が理系の専門性を活かせる場があります! 総合職としては、防衛省本省では行政職施設系・行政職装備系、防衛装備庁では研究職研究開発系、陸海空各幕僚監部では 研究職能力分析系、情報本部では研究職情報系という5つの職種がそれぞれのフィールドで技術的知見を活かしながら活躍しています。 また、地方防衛局や統合幕僚監部、陸海空自衛隊の各部隊等では一般職職員がそれぞれ活躍しています。総合職(行政職施設系)は 自衛隊の活動基盤である駐屯地・基地等の防衛施設に関する政策の企画立案や整備を担い、総合職(行政職装備系)は自衛隊の能力発揮の 根幹である防衛装備品に関する政策の企画立案や調達実務を担い、総合職(研究職研究開発系)は装備品の研究開発業務を担っています。 一般職職員は技術のプロフェッショナルとして装備品の点検・整備、防衛施設の設計・監督、サイバーセキュリティ業務等を担っています。



土木・建築・機械・電気等の専門性を活かし、防衛政策を具現化する



る脆弱性評価シミュレーション



装備品の取得や防衛装備移転の 推進等を実施



日英伊3か国による共同開発中の 次期戦闘機(画像はイメージです)



戦略的な「装備政策」を展開し、 日本と世界に貢献する





先輩職員に聞く

From senior to you

技術の力で、 日本の平和と独立に貢献

相原 昌博

防衛省 整備計画局施設整備課防護施設研究室 防護施設調査班 調整係長

2019年採用

記憶に残っている業務

入省1年目に配属された統合幕僚監部で行った事態対処にかかわる業務が記憶に残っています。その年には北朝鮮 によるミサイル発射、台風等に伴う災害派遣、国際緊急援助活動など様々なことが起きた年であり、自衛隊の任務を肌 身で感じた1年間でした。施設系技官の仕事はそれらの業務に従事する自衛隊の活動基盤を整備する仕事であり、地方 防衛局で実際に施設整備に従事する際は身の引き締まる思いでしたし、それは今も同様です。

仕事の面白み、やりがい

防衛施設には滑走路、火薬庫、港湾施設など種々多様な施設があります。また、有事やテロを想定した施設防護を行 う必要があり、勉強の毎日ですが、ここでしかできない仕事であることが一番の面白みだと思います。また私はこれか ら約2年間、アメリカにある米軍の防護設計センターで勤務し米軍の施設防護技術について学ぶ予定です。米軍の考え 方を習得し防衛施設に活かせる知見を持ち帰りたいと思います。こういった機会があることも面白みの一つだと思います。



総合職試験採用職員

(令和7年4月現在)

初任給	<院卒者試験採用>302,560円*1 <大卒程度試験採用>284,800円*1 (令和7年人事院勧告反映前の額)
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与 (ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.6月分*2(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分*3
休暇等	年次休暇 20日*4 残日数は 20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日~1月3日) *3

- ※1 令和7年人事院勧告反映前の額で す。本府省勤務の場合(院卒者: 行政職俸給表(一)2級11号俸、大卒程度:行政職俸給表(一)2級 1号俸)。本府省業務調整手当及 び地域手当を含みます。
- ※2 令和7年人事院勧告反映前の平均 の支給月数です。勤勉手当は勤務 成績に応じて支給され、成績優秀 者にはより多い支給月数分が支給 されます。
- ※3 職務の必要等に応じて異なる場合 があります。
- ※4 4月1日採用の場合、採用年は15 日となります。

▶ 一般職試験採用職員

(令和7年4月現在)

初任給	<大卒程度試験採用>271,200円*1 (令和7年人事院勧告反映前の額)
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.6月分*2(6月、12月に支給)
勤務時間	1日7時間45分*3
休暇等	年次休暇 20日**4 残日数は 20日を限度として翌年に繰越し その他、病気休暇、特別休暇 (夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)、介護休暇等
休日	土・日、祝日等・年末年始(12月29日~1月3日)*3

- ※1 令和7年人事院勧告反映前の額で す。本府省勤務の場合(行政職俸 給表(一)1級25号俸)。本府省業 務調整手当及び地域手当を含み
- 令和7年人事院勧告反映前の平均 の支給月数です。勤勉手当は勤務 成績に応じて支給され、成績優秀 者にはより多い支給月数分が支給 されます。
- 職務の必要等に応じて異なる場合 があります。
- 4月1日採用の場合、採用年は15

研修と多様な勤務経験

国家公務員には、研修や他機関への出向等の多様な育成機会が設けられており、 本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院が実施する 各種研修の詳細はこちら



官民人事交流

理系の頭脳×官と民の現場力=次の社会をつくる

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、

組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。

国家公務員のまま民間企業等で働くことができます(制度ができた平成12年から令和6年末までの間に、

延べ829人が民間企業等に交流派遣されています。)。

技術系採用職員の交流派遣先実例

キリンホールディングス株式会社 株式会社サイバーディフェンス研究所 全日本空輸株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 富士通株式会社 株式会社三菱総合研究所

他にも様々な民間企業等(地方含む)へ交流派遣されています。

交流派遣を経験した職員の成長実感!!

出身府省の 見え方が変わる

民間企業の ノウハウ、業務手法を 体得できる

自ら考え、 行動する能力、 情報収集能力が 向上する

官民人事交流の仕組み、 有識者・官民人事交流経験者の インタビュー記事など 詳細はこちら



国内外の大学院への派遣

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するため、人事院や各府省による国内外の 大学院への派遣制度が設けられています。

こうした制度を利用して、技術系職種に採用された職員が国内外に派遣される機会も開かれています。

試験から採用までの流れ

総合職試験

大学卒業後の翌年度4月に採用 を目指す場合に受験可能な試験 (計6回)と官庁訪問の流れ

大学4年時に総合職試験(春試験) 合格後大学院進学、大学院修士 課程修了後の翌年度4月に採用

大学4年時に総合職試験(春試験) 3 合格後民間企業に3年程度勤務 し退職、その翌年度4月に採用

> 総合職試験(春試験)院卒者試験 合格後博士課程に進学し、博士 課程修了後の翌年4月に採用

	大学2年 秋試験	大学3年 教試験	大学4年 春試験 秋試験 上>官庁訪問 -	〉 採用		
	大学4年 春試験 合格	修士1年	修士2年 ─→官庁訪問	≯【採用】		
	大学4年 春試験 合格	社会人1年目	社会人2年目	社会人3年目	─➤ 官庁訪問 ──	→採用
ŀ	修士 2 年 春試験 (院卒者) 合格	博士1年	博士2年	博士3年 ──➤官庁訪問 ──	≯【採用	

1.「合格」=「採用」ではありません。

総合職試験に合格すると採用候補者名簿に記載されます。

採用されるためには、名簿の有効期間中に志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

2.各種試験と採用時期の組み合わせ

総合職試験には、実施時期に応じて、春試験と秋試験(大卒程度「教養区分」のみ実施)の2種類があります。

また、採用候補者名簿の有効期間は、2023年度の試験より、最終合格者発表日から5年間(注)です。 例えば、大学4年生で総合職春試験に合格し、

大学院の修士課程を修了した方又は民間企業などで3年程度勤務した方でも、再度試験を受験することなく、各府省の官庁訪問を経て採用されることが可能です。

(注) 大卒程度「教養区分」の採用候補者名簿の有効期間は、2023年度から2025年度までの試験合格者については6年半、2026年度の試験合格者については7年です。

一般職試験

大学卒業後の翌年度4月に採用を 1 目指す場合に受験可能な試験(計2 回)と官庁訪問の流れ

大学4年時に一般職試験(大卒程度 2 試験) 合格後大学院進学、大学院修 士課程修了後の翌年度4月に採用

大学4年時に一般職試験(大卒程度 試験) 合格後民間企業に3年程度勤 務し退職、その翌年度4月に採用



● 「合格」= 「採用」ではありません。

一般職試験(大卒程度試験)に合格すると採用候補者名簿(有効期間は5年間、教養区分のみ6年間)に記載されます。 採用されるためには、名簿の有効期間中に志望する府省を訪問(官庁訪問)して、内々定を得る必要があります。

デジタル分野の専門性を持つ皆さんへ

情報通信技術を活用するデジタル社会の実現に向けて、情報系の専門的な素養を持つ人材が必要となっています。 公務の中で情報系の知識を持って、政策の企画立案に参画等する人材を募集しています。

上述の総合職試験、一般職試験の中にはデジタルに特化した区分があるほか、「情報処理技術者試験等レベル3以上」の 資格を有していれば試験以外の方法でも採用される機会があります。



府省等別・試験の区分別採用状況

総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況

(令和7年4月1日現在)

											713										(令和)	7年4月	1日現在)
試驗	試 院卒者試験									大卒程度試験								+0					
試験の区分	行 政	人 間科学	デジタル	学	数理科学·物理·地球科学	化学·生物·薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法 務	政治・国際・人文	· 法 律 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	経済	人間科学	デジタル	学	数理科学·物理·地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	教養	合計
府省等					科学												科学						
会計検査院											(2)	(1)	(1)									2	6 (4)
人事院											(2)	5 (2)		(1)	_								8 (5)
内閣府	(1)	(1)									(3)		5		1		1					4 (2)	20 (7)
デジタル庁	4 (3)		1										1		1	(1)							8 (4)
公正取引委員会											(1)	3 (2)	1									1	6 (3)
警察庁	1 (1)										1	2 (1)		(1)	1	1		2				22 (8)	31 (11)
個人情報保護委員会												1 (1)										(1)	2 (2)
金融庁	2		1		1 (1)						1	3 (2)	2 (1)									6 (2)	16 (6)
消費者庁											2	2 (2)											4 (2)
こども家庭庁		3 (2)										1											4 (2)
総務省	5 (2)	(1)	2		1 (1)	3 (3)					5 (1)	5 (2)	2 (2)		2		1					32 (9)	59 (21)
消防庁									1 (1)										1				2 (1)
法務省	3 (1)	8 (5)									1 (1)	10 (7)		8 (6)								1 (1)	31 (21)
出入国在留管理庁	2 (1)										4 (2)	2 (1)										2 (1)	10 (5)
公安調査庁											2	3	1 (1)									2 (1)	8 (2)
外務省	4										9 (5)	2 (2)			1					1		18 (6)	35 (13)
財務省	2					2 (2)					3 (2)	7 (2)	4 (2)									21 (4)	39 (12)
国税庁	1					3 (1)	1				2 (1)	1	2 (2)									3 (1)	13 (5)
文部科学省	3 (1)	1		2 (2)	2	4 (1)	1				1	2 (2)	1			2		1 (1)				10 (4)	30 (11)
厚生労働省	7 (5)	2 (2)	2		1	9 (3)			1		(3)	4	1	3 (2)	1	1 (1)	1		3 (2)			16 (7)	56 (25)
農林水産省	4 (2)			1		4 (1)	18 (4)	3	7 (2)		(3)	2	4 (1)	2 (2)		3 (1)			27 (15)	22 (7)	9 (3)	11 (7)	121 (48)
経済産業省	6 (2)		1	2	2 (1)	1 (1)	1			2	3	1	7 (3)		1 (1)	4						23 (11)	54 (19)
特許庁			2	8 (2)	2	18 (9)	3 (2)								3 (1)	18 (4)	3 (2)	5 (2)	1		1 (1)		64 (23)
国土交通省	4 (2)	1	1	31 (3)	1 (1)	1	1		10 (7)		3 (2)	4 (2)				50 (7)		1 (1)	2 (1)	2	3 (2)	19 (2)	134 (30)
気象庁				1	5 (2)	1										1 (1)	1						9 (3)
海上保安庁			1	1 (1)															2 (1)				4 (2)
環境省	4 (1)			1 (1)	1		1		6 (2)		1	2 (1)			1	1	1	3 (2)	3 (3)		1	5 (3)	31 (13)
原子力規制庁			1			1										1							3
(独) 造幣局																							
(独)国立印刷局	1		1																				2
防衛省	4 (1)			7 (2)							2 (2)	3 (2)				4					1	10 (2)	31 (9)
防衛装備庁			1	6		2									2	6		1 (1)					18 (1)
参議院事務局																1							1
合 計	60 (23)	18 (11)	14	60 (11)	16 (6)	49 (21)	26 (6)	3	25 (12)	2	57 (30)	66 (32)	32 (13)	15 (12)	14 (2)	94 (15)	8 (2)	13 (7)	39 (22)	25 (7)	15 (6)	209 (72)	860 (310)

⁽注1) 2024年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和7年4月1日までの間に採用された者の数です(週年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。)。

⁽注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和9年4月の採用予定数は、令和8年2月初旬頃に人事院のホームページ [国家公務員試験採用情報NAVI] 等に掲載する予定です。 その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

▶ 一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

(令和7年4月1日現在)

	(令和/年4月)								1口坑江)							
試験の 区分 府省等	行	政	 デジ <u>タ</u> 電気・		機	械	土木	建 築	物理	化学	農学	農業農村工学	林学	合	合 計	
会計検査院	26	(13)	1						1	1 (1)				29	(14)	
人事院	16	(13)												16	(13)	
内閣官房	9	(4)			1	(1)			1	1 (1)				12	(6)	
内閣法制局	2	(2)												2	(2)	
内閣府	26	(14)			2					3 (2)	1 (1)	1		33	(17)	
デジタル庁	5	(3)	5	(1)										10	(4)	
宮内庁	11	(7)	1					3 (2)					1 (1)	16	(10)	
公正取引委員会	18	(11)							,					18	(11)	
警察庁	45	(27)	16	(4)	3	(1)	1		5 (1)	5 (2)	7 (1)			82	(36)	
個人情報保護委員会	4	(3)												4	(3)	
カジノ管理委員会	3	(1)												3	(1)	
金融庁	26	(16)												26	(16)	
消費者庁	5	(4)												5	(4)	
こども家庭庁	16	(9)												16	(9)	
総務省	111	(48)	10	(2)					1 (1)	3 (3)	1			126	(54)	
法務省	226	(115)	1					1						228	(115)	
検察庁	229	(110)												229	(110)	
出入国在留管理庁	142	(84)												142	(84)	
公安調査庁	65	(26)	1											66	(26)	
外務省	6	(3)	1		1			1 (1)						9	(4)	
財務省	11	(4)	1											12	(4)	
財務省財務局								2 (1)						2	(1)	
財務省税関	230	(113)	2		1	(1)			1	12 (5)	6 (4)			252	(123)	
文部科学省	25	(11)	2				1			1	2 (1)			31	(12)	
厚生労働省	560	(292)	1											561	(292)	
農林水産省	193	(114)	3	(1)			2 (1)	1		3 (1)	84 (45)	32 (10)		318	(172)	
林野庁	27	(9)											76 (27)	103	(36)	
水産庁	14	(10)												14	(10)	
経済産業省	107	(49)	2		2		6 (3)		1 (1)	7 (1)			2 (2)	127	(56)	
特許庁	40	(27)												40	(27)	
国土交通省	422	(155)		(3)	23	(1)	137 (24)	15 (7)	17 (1)	7 (3)	20 (4)	5 (1)	10 (2)	679	(201)	
気象庁	28	(18)	7	(1)			15 (2)		69 (14)	13 (8)	11 (3)	1 (1)	4 (1)	148	(48)	
運輸安全委員会	1	(1)					1 (1)							2	(2)	
海上保安庁																
環境省	26	(19)					2	1	1 (1)	3	3 (2)	1	11 (5)	48	(27)	
原子力規制庁	9	(4)			2					2 (2)	1			14	(6)	
行政執行法人	22	(11)	2			(2)				14 (7)	15 (8)		1	58	(28)	
防衛省	184	(57)	9		4		1	1 (1)	1	2 (1)				202	(59)	
防衛装備庁	25	(6)	3		6					4				38	(6)	
衆議院事務局			1					1						2		
衆議院法制局																
合 計	2,915	(1,413)	92	(12)	49	(6)	166 (31)	26 (12)	98 (19)	81 (37)	151 (69)	40 (12)	105 (38)	3,723	(1,649)	

⁽注1) 2024年度一般職試験(大卒程度試験)の合格者で最終合格者発表日以後令和7年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。)。

令和9年4月の採用予定数は、令和8年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。 その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。 なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。



⁽注2) ()内の数字は、女性の内数です。

人事院地方事務局(所)の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042	札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014	仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712	さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	∓460-0001	名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513	大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012	広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019	高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022	那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック!



国家公務員試験採用情報NAVI

https://www.jinji.go.jp/saiyo.html

Youtube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg





X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/





Threads

https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo



https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html





note

https://fusyououdan-jinji-gov.note.jp/

内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html



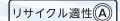
お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

人事院ホームページ

https://www.jinji.go.jp/top.html





この印刷物は、印刷用の紙へ リサイクルできます。

2025年10月発行